

総務文教委員会委員長報告（管内視察）

1.開催日 令和3年5月10日、5月11日

2.視察施設数 16件

3.経過及び結果 下表のとおり

| 所管課 | 施設名 | 質疑内容 | 答弁内容 |
|--|--------------|--|--|
| まちづくり推進課 | あおぞらだんち | 購入者に年齢や収入など制限は設けているのか。 | 年齢や収入などについて制限は設けておらず、移住者でも市内の方でも購入は可能である。ただし1世帯につき1区画しか購入はできない。 |
| | | 購入時期によって価格が変更になることはあるのか。 | 基本的には、価格を変更しての売却は考えていない。しかし、固定資産評価額の見直しがあった場合等、状況の変化に応じた価格の見直しを行う可能性はある。 |
| | 元移住体験住宅 | 利用目的が移住を考えている人というのは、利用者を限定してしまうと思うが、利用者がいないときには、目的外の利用もできるのか。 | 短期間で室内での生活を体験して、色々な情報を得たり、地域の方々との関わりをもっといただいて、移住のきっかけをつくるための施設である。設置目的は条例で定めており、目的外の利用は難しい。 |
| | 室戸岬高速バスロータリー | DMVのバス停はどこに設置するのか。 | 計画では、高速バスの停車場に、DMVのバス停を準備する予定になっており、高知県、徳島県、徳島バスとは協議済みである。 |
| 現在1便に減便されているが、今後増便、もしくは路線がなくなることはあるのか。 | | 令和2年3月より、2便から1便へ減便になった。理由としては、コロナ禍による利用者の減少と運転手の確保ができないためである。今後、利用が増加するなど、必要であれば、増便への要望活動も行っていきたいと考えている。 | |
| 総務課 | 佐喜浜出張所 | 移設後の利便性について。 | 特段不便になったなどの意見等は挙がってきていない。 |
| 学校保育課 | 室津川教職員住宅 | 新築の住宅を建築する場合、補助金はあるのか。 | 補助金はなく、市単が過疎債を充てることになると思われる。教職員用の住居は一定数必要だと考えているが、どのようなかたちで確保するのが良いのか、現在協議中である。また別の案として、県の職員住宅を利用できないかなど、検討を進めている。 |
| | 中部学校給食センター | 現在470食を提供しているとのことだが、各校の内訳はどのようなになっているのか。 | 児童数と、教職員数合わせて、室戸小学校223名、元小学校16名、佐喜浜小学校47名、室戸中学校140名、佐喜浜中学校26名と不定期ではあるが、スクールカウンセラーの方等の分を提供している。 |

| 所管課 | 施設名 | 質疑内容 | 答弁内容 |
|-------|-------------------|---|--|
| 防災対策課 | 都呂地区津波避難 シェルター | シェルター内の換気は十分であるのか。 | ダクト、換気扇があり、シェルター内部の空気の入れ替えはできている。 |
| | | トイレについて、もう少し配慮が必要だと思うが何か対策は考えているのか。 | トイレの数については、トイレ用のテントと災害用簡易トイレを増設し、臭いについては、消臭剤等を備蓄する。 |
| | 神の前備蓄倉庫 | 食糧品について、賞味期限切れで廃棄をしない取り組みはしているのか。 | 賞味期限が切れる前に、市内の各小中学校や防災イベントで配布している。公民館・市民館などにも周知を行い、廃棄しないよう取り組んでいく。 |
| 人権啓発課 | 羽根市民館 | 相談事業の中でその他の相談が多いが、どの程度解決できているのか。 | ワンストップ型（書類の書き方や、代読、市役所の関係課を案内する）はほぼ解決できている。しかし金銭問題などの継続した相談事については4、5件ある。専門機関ではないため、包括支援センターと連携しながら、適宜自宅への訪問も行っている。 |
| | | 羽根海岸有効利用実行委員会はどのような活動をしているのか。 | 活動内容は海岸清掃である。羽根海岸全域を周辺常会、小中学校の生徒及び行政で清掃している。 |
| | | コロナ禍でのイベントや行事の開催状況について。 | 飲食を伴う料理教室や、カラオケ教室は休みにしているが、その他の地域交流事業は行っている。ふれあい祭りは、内容を縮小し、作品展のみを行った。 |
| 財産管理課 | 室津川団地 | 今現在住まれている方全員が新築住宅への入居を希望しているのか。 | 全世帯が入居を希望している。 |
| | | 家賃が民間に比べ、かなり安いと思うが、適正な価格なのか。 | 現在一番安い家賃の方で月7,300円であり、築年数や部屋数など法律に基づいた金額である。 |
| | | 住宅を新築することは、財政の圧迫になりうる。空き部屋も多いと思うが、その辺りの兼ね合いも考慮して建築を行っているのか。 | 現在空き部屋もあるが、住宅の建築は昭和50年代に多く、耐震基準も満たしていない住宅もあり、古い住宅が多いのが現状である。住宅運営も赤字が累積しているわけではなく、計画的に建て替えを進めている。 |

| 所管課 | 施設名 | 質疑内容 | 答弁内容 |
|-------|-----------------|--|--|
| 生涯学習課 | 鯨館 | 入館者数について。 | 平成31年度が8,725名、令和2年度が5,294名である。 |
| | 吉良川町並み拠点施設 | 地元も参加し、様々なイベントを行っているが、周知が不十分ではないか。 | 現在フェイスブックでPRを行っているが、更新が月1回程度であるので、今後はその頻度を増やしていく。また、市内だけでなく、市外県外の方に対してもPRを拡充していく。 |
| | | べっぴんさんの家の営業を土日祝日だけでなく、平日も飲み物だけでも提供してはどうか。 | 平日は、来館者数が少なく、調理員の事情もあり、現在は土日祝日のみ営業である。飲み物だけの提供であれば対応が可能かどうか今後検討していきたい。 |
| | 室戸中央公園相撲場 | 土俵は現在の状態で置いておくのか。格納等できないのか。 | 床下へ格納し、使用時にせり出せる可動式の土俵について見積もりをとったが数千万円かかるため、現在のところは、土俵は固定状態での利用となる。 |
| | | 人工芝を敷いたことにより、相撲以外にも活用の幅が広がったと思うが、何か利用方法はないのか。 | 相撲場としては、以前は少年相撲の練習で利用していたが、現在は主に年1回の高校相撲の全国大会の利用となっている状況であり、それ以外の人工芝を活かした利用方法について検討し、PRしていく。 |
| | 室戸中央公園テニスコート | クレー（土）コートは整備がされていないが、今後の取り組み内容はどのように計画しているのか。 | 草刈等整備は行っていきたいと考えている。クレーコートでの試合もほとんどないため、このまま土で置いておくのか、人工芝のコートにするのかもあわせて検討していきたい。 |
| | | 室戸市総合振興計画の中にテニスコートの整備が挙げられている。今後はどのように進めていくのか。 | 照明施設もあるので、クレーコートの方は、整備を行い、テニス以外の利用方法も念頭に置きながら検討していきたい。 |
| 消防本部 | 消防本部 | 消防と救急があるが、人員配置は十分なのか。 | 現在の定数は51名である。救急対応の職員割合が多く、重複出動があった場合には、非番招集により対応を行っており、現状業務に支障は生じていない。 |
| | | 救急車3台全てが出動するのは年に何回ぐらいあるのか。 | 3台出動は月に1、2回程度である。 |
| | 室戸岬防災コミュニティセンター | 消防の大会も行うとのことだったが、防火水槽は設置されているのか。 | 山側に耐震性の防火水槽（40トン）を設置している。補給栓を設置し、水を使用しながらの補給も可能であるため、大会開催には問題ないと考えている。 |
| | | 工事の残土はどこで処理しているのか。 | 佐喜浜町にある室戸菱光の土砂置き場を工事施工会社の三谷組が借りており、そこで処理している。処理費は三谷組、運搬費については、市の負担となる。 |